事務事業調書(通常評価	西事業 事後	:評価)							
事務事業名	国保税	等賦課徴収事	業			事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	市民生活	活部 市民課	Ę		担当者	長	嶋 かお里			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	06			障と社会福祉					
10 11 11 11	基本事	業 01	医療保険制度							
事業の目的			納付率を向上させ							
事業の概要		納税に伴う賦	課・収納							
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7至	F度		
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	빌	首初		
	総	事業費	1, 310		1, 2	70		601		
■前年度の事業	分析【評	平価 (Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	示句例	中世	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	国民健康保険税	収納率(現年分)	%	97. 5	96. 9	97	97		
	評価	■■達成、	既ね達成した (つ多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		目標97.09	6に対し96.9%達	成						
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	≷地なし			
■将来方向性【	改善(A	ction)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●明	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算				業務量	○拡大	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評価		:評価)					
事務事業名	ジェネリ	リック医薬品	差額通知事業			事業開	開始年度 平	成30年度
担当課	市民生活	舌部 市民調	7		担当者	長	嶋のお里	
■事業の執行計					*	*		
	政策	02	福祉の充実と					
総合計画体系	施策	06			障と社会福祉			
	基本事業	業 01	医療保険制度	まの健全運	営			
事業の目的	医療費排	印制および後	発医薬品利用促進	É				
事業の概要	る。		発医薬品利用促進	≜のため、1	发発医薬品差 額	頁通知書を被係	保険者に通知す	r
■事業実施結果	1/1//	(Do)]						
		年度	5年度		6年			丰度
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実			首初
	総事業費				18	37	1	80
■前年度の事業		平価 (Check)						
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	赤1 口1小	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	色	後発医薬品の割	合(数量シェア)	%	80. 52	82. 47	82	82
	評価	●達成、村	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	•	
達成度の			に対し82.47%だ					
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	●数年内/	こ見直し可能 (つ全地けた	るがまだ時間	が必要 〇分	地なし	
		ction)		J //\ / 10 (0)	0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1/4 XLF SC 0 /1	1,50.0	
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	〇廃止・:	完了			
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	●現状 〇縮小	\
具冰刀凹注		銀 し加入	. ●坑仏 ○稲小		未伤里		プスタン の 一	,

	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	介護保	段料徴収事 務	ξ.				事業開	開始年度 📑	平成17年度
担当課	健康福	祖部 高齢認	Ę.			担当者	佐	藤 美冴	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保	:障			
総合計画体系	施策	06	生活を支援す						
	基本事	業 02	介護保険制度	での健全運	営				
事業の目的	適正な	賦課により、	納付率を向上させ	tる。					
事業の概要	(転入	、転出、死亡	市民税の所得額の 、所得額の変更等						助
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度			6年			7年度
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	1, 191			1, 2	24	2	, 052
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標	ti:	画夕 称	単位	,	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	指標名称			実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	介護保険料収納 保険料)	率(第1号被保険者	%	99.	6	99. 7	99. 8	99. 8
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成し	たの達	成できず		·
達成度の 評価と説明	説明		F対比においてO.	1ポイント.	上昇	した。			
見直し余地	判定	2 〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るか	ぎまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし	_
■将来方向性【		Action)]							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●理	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算		、○現状 ○縮小			業務量	○拡大	現状 〇縮	/J\

			:評価)								
事務事業名	生活係	Ŗ護者扶助事業				事業開	開始年度 平	成17年度			
担当課	健康福	福祉部 福祉課	-		担当者	福	富 英明				
■事業の執行計											
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障						
総合計画体系	施策	06	生活を支援す	る社会保	障と社会福祉						
10 11 11 11 11	基本事	3業 03	生活保護世帯								
+ *** • • • **	東保護者に対し、その国窮の租庫に広じ、必要な保護を行し、その長所阻康の生活を保障す										
事業の目的		もに、その自			0.11.12.6.13.1	C		, ,			
				要否判定	4. 保護の湯	k定 5 扶助	カ 費の支出				
事業の概要			助言指導 7. 停			()C - ()()	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
■事業実施結果			93 H 1H () 1	// June 11							
		年度	5年度		6年	度	7:	年度			
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績	実績			当初				
		総事業費	534, 252		600. 723		600, 046				
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)									
	指標	+6+	ᇑ <i>ᄼᅩ</i>	** /T	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
お海の米投	活動	被保護者世帯数		世帯	235	245	245	245			
指標の推移	冶勁	恢休 謢有世帝致		甲甲	230	240	240	240			
	成果	自立による生活	保護廃止となった世	世帯	12	7	14	14			
		帯数			· -	1	14	14			
	評価		既ね達成した (
達成度の		他法他政策	その活用や、ケー だんりょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	スワーカー	-と生活保護就	労支援相談員	の連携の下、	生活保護受給			
評価と説明	説明		₹の支援を行った				件数は7件に	とどまった。			
		前年度から	大幅な減少とな	り、目標σ)達成には至ら	なかった。					
見直し余地	判定	≧ ○数年内/	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし				
■将来方向性【	<u> </u>	Action)]									
事業の方向性		፤し継続 ○頭	!状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\			

9 350 9 514 May 1 1			評価)						
事務事業名	児童生	徒就学援助事	業			事業開	開始年度 円	₽成26年度	
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	西	潟 未来		
■事業の執行計									
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	06			障と社会福祉	•			
10 11 11 11	基本事	業 04	生活困窮者0						
事業の目的			者負担の軽減を図		生徒の教育を勢	受ける権利を係	保障する。		
事業の概要	務教育	を受けるにあ	学困難と認められ たって生じる費用			こ在籍する児童	重生徒を対象	に義	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7	年度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績	実績		実績		当初	
	i	総事業費	32, 380 32, 401 32, 889		., 889				
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]						
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打 目1	宗石孙	甲型	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	要保護及び準要 支障なく通学し	保護児童生徒のうち ている者の数	人	300	284	290	290	
	活動	支障なく通学し		^	68	70	70	70	
	評価	[●達成、	<u> 概ね達成した (</u>	う多少は達	成した 〇遺	重成できず しょうしょう			
達成度の			自により就学困難			支援学級に在	籍する児童生	±徒を対象に義	
評価と説明	説明	務教育を登	受けるにあたって	生じる費用	目を補助した。				
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●会	戻地なし		
■将来方向性【		Action)							
事業の方向性		[し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性		算額 〇拡大			業務量	○拡大●	現状 〇縮/	<u>'</u> \	

	通常評		:評価)							
事務事業名	災害被	災者扶助事業				事業開	開始年度 平	" 成17年度		
担当課	健康福	社部 福祉課	₹		担当者	前	田真紀			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	06			障と社会福祉					
	基本事	.業 04	生活困窮者0							
+ W 0 D 4 L	ル災・周水宝等によって住宅の今時又は今徳・海生等の被害を受けたときに、災害罹災者目									
事業の目的			欲の振起を図る。							
			災者に見舞金を支	が給する。						
事業の概要		,)	(14)						
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7:	年度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	3	当初		
7 7 7 7 7 7 7 7	ŕ	総事業費	150			50		150		
■前年度の事業:	分析【	評価 (Check)								
	指標		<u> </u>	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
15.12 O 14.10		日無人士从川半		<i>1</i> 11	4		0			
指標の推移	活動	見舞金支給件数		件	I	3	3	3		
	評価	●達成、	既ね達成した (O多少は達	成した 〇達	成できず	•	•		
達成度の			ちを支援し生活再			福祉の推進に	貢献している	5.		
評価と説明	説明									
11 Im C 150 71	170 73									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし			
■将来方向性【		Action)								
事業の方向性		し継続 ●明	状どおり継続	〇廃止・	 完了					
資源方向性	予算				業務量	○拡大	現状 〇縮小	١		

事務事業調書(通常評価		(評価)							
事務事業名	生活困窮	居 者自立支援	爭務			事業開	始年度 平	成27年度		
担当課	健康福祉	上部 福祉詩	*		担当者	福'	富 英明			
■事業の執行計	画【計画	(Plan)								
	政策 02 福祉の充実と安心の社会保障									
総合計画体系	施策	06	生活を支援す	「る社会保	障と社会福祉					
	基本事業	€ 04	生活困窮者の	D支援						
±** 0 0 11	生活保護に至ろ前の生活困窮者に対し必要な支援を行うことにより、生活困窮者の自立の保									
事業の目的	進を図る									
丰业 。加工			て自立相談支援事	業を実施す	するとともに、	必要に応じ信	主居確保給付金	定を		
事業の概要	支給する									
■事業実施結果		Do)								
	ź	丰度	5年度		6年	F度	7年度			
事業費の推移	実績/:	当初予算	実績		美	:績	놸	á初		
		事業費	16, 598		6年度 7年度 実績 当初 11,534 14,687					
■前年度の事業	分析【評	価 (Check)								
	指標	指標 指標名称			5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	宗石你	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果生数		る問題が改善した件	件	4	5	10	10		
	奴			<u> </u>						
	評価	〇達成、	既ね達成した ()多少は達	成した ●遺	成できず		•		
達成度の			はさくら市社会権				何の6年目であ	ったが、令和		
評価と説明	説明		べて達成度は向」							
11 Im C 170 71	1,000									
見直し余地	託先への適切な指示、助言等を通じ、支援の拡充を図る。									
■将来方向性【	改善(Ac	tion)]								
事業の方向性	●見直し	·継続 O 3	見状どおり継続	〇廃止・	完了					
	予算客				業務量	○拡大●	現状 〇縮小			

1 100 1 1 1 1 NO. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	通常評価		評価)							
事務事業名	公営住	宅維持管理事	業			事業開	始年度 円	₽成17年度		
担当課	建設部	建設課			担当者	大	島渉			
■事業の執行計画										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	06	生活を支援す			-				
	基本事	業 05	安全で快適な							
			画に基づき、効果			維持管理を実施	れするととも	に計		
			行い、良好な市営				2, 0 = = 0			
			額所得者に対して			`				
事業の概要			、入退去の管理、			,				
■事業実施結果	【実施		· /\&\\	121112	11119 13 0					
		年度	5年度		64	 F度	7	'年度		
事業費の推移	実績	/当初予算	実績			績	当初			
1 SICSCOO IE IS	糸	総事業費	69, 938		62.			, 116		
■前年度の事業分		平価 (Check)]		,			,		
	指標	JF.1	= <i>p 1</i>	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指和	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	安全で快適な公	世代字の世紀	%	51. 4	55. 9	60. 4	66. 7		
1日1示U71E19	八木 .	女主で大週な五	古圧七の供和	70	J1. 4	55. 9	00. 4	00. 7		
	評価	●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した Oi	産成できず				
達成度の		・常に風雨	同にさらされる外	壁、屋根に	艮については、定期的な改修作業が必須であり、事業実施					
評価と説明	説明	により10年	F~15年程度の長	寿命化が図	3られた。					
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ○分	≷地なし			
■将来方向性【こ	汝善 (<i>P</i>	Action)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算				業務量	量 ●拡大(現状 〇縮/	<u>ا</u> ار		